

総務委員会資料

議案第17号

東海道かわさき宿交流館の指定管理者の 指定について

資料1「議案第17号参考資料」

資料2「東海道かわさき宿交流館について」

平成25年2月13日

総合企画局

1 管理を行わせる公の施設の概要

(1) 名称	東海道かわさき宿交流館
(2) 所在地	川崎市川崎区本町 1 丁目 8 番地 4
(3) 設置条例	東海道かわさき宿交流館条例
(4) 設置目的	東海道川崎宿に関する歴史、民俗等の資料の展示を行うとともに、市民相互の交流を推進し、もって市民の文化の振興に寄与することを目的とする。
(5) 施設の事業内容	・東海道川崎宿に関する歴史、民俗等の資料の展示を行うこと。 ・東海道川崎宿に関する情報の収集及び提供に関すること。 ・東海道川崎宿に関する活動の支援に関すること。 ・施設及び設備を利用に供すること。 ・その他施設の目的を達成するために必要な事業に関すること。
(6) 現在の管理者	新設
(7) 現在の管理運営費	新設

2 指定管理者となる団体の概要

名 称	川崎市文化財団・川崎市観光協会グループ (代表者：公益財団法人川崎市文化財団) (構成員：一般社団法人川崎市観光協会)
住 所	川崎市川崎区駅前本町 1 2 番地 1

(1) 代表者

名 称	公益財団法人川崎市文化財団								
住 所	川崎市川崎区駅前本町 1 2 番地 1								
代表者名	理事長 北條 秀衛								
設立年月	昭和 60 年 3 月								
基本財産	3, 000 万円								
職員数	35 人								
設立目的	市民の文化芸術活動の振興を図り、もって川崎市における文化芸術の創造を促進し、市民が生き生きと心豊かに暮らせるまちづくりに寄与することを目的とする。								
事業概要	・ミューザ川崎シンフォニーホール指定管理者 ・川崎市アートセンター指定管理者 ・アートガーデンかわさき管理運営事業								
決 算 (平成 23 年度)	<table> <tr> <td>総収入</td><td>1, 541, 606 千円</td></tr> <tr> <td>総支出</td><td>1, 552, 304 千円</td></tr> <tr> <td>当期損益</td><td>△ 10, 698 千円</td></tr> <tr> <td>累積損益</td><td>9, 874 千円</td></tr> </table>	総収入	1, 541, 606 千円	総支出	1, 552, 304 千円	当期損益	△ 10, 698 千円	累積損益	9, 874 千円
総収入	1, 541, 606 千円								
総支出	1, 552, 304 千円								
当期損益	△ 10, 698 千円								
累積損益	9, 874 千円								

(2) 構成員

名 称	一般社団法人川崎市観光協会
住 所	川崎市幸区堀川町66番地20
代表者名	会長 斎藤 文夫
設立年月	平成23年4月
基本財産	なし
職員数	7人
設立目的	川崎市の観光宣伝及び観光客の誘致並びに観光客に対する情報提供を行うとともに、市内各地区観光協会及び観光関連事業者と密接な連携を図ることにより、観光事業の健全な発展を促進し、もって川崎市の地域経済の振興及び文化の発展・向上に寄与することを目的とする。
事業概要	・川崎市制記念多摩川花火大会事業 ・観光案内所等運営事業 ・観光写真コンクール事業
決 算 (平成23年度)	総収入 192,706千円 総支出 192,645千円 当期損益 61千円 累積損益 61千円

3 指定期間

平成25年9月1日から平成30年3月31日まで

4 選定結果

別紙のとおり

5 事業計画

主 な 項 目	主 な 事 業 内 容
管理運営に係る基本方針	・グループのネットワークから「かわさき宿 共創・共育」ネットワークを形成し、東海道かわさき宿交流館を核とした地域・広域の連携と交流による「かわさき文化観光づくり」を推進する。
地域・市民等との連携	・公益財団法人川崎市文化財団が管理運営を行う市内文化施設と連携するとともに、文化施設に関するイベントなど各種情報を提供する。 ・市内文化施設と連携し、企画展等を実施する。 ・川崎・砂子の里資料館と連携し、様々な文化活動を展開する。 ・NPO法人かわさき歴史ガイド協会の協力を得て、展示・まち歩きなどにより来館者サービスの向上を行う。 ・近隣商店街等と連携し、かわさき名産品の販売や来館者に土産品や食事処のグルメ情報の提供などを行う。 ・ワークシート、学校利用の手引きなどを作成し、小学校等の団体受入を進める。 ・他の観光協会などと連携した広報、東海道の他の宿場との情報交換などを進める。
企画展の実施方法等	・年間を通して大規模展示、中規模展示などを実施する。 ・川崎・砂子の里資料館及び市内文化施設と連携し、企画展を行う。 ・市内イベント・歳時記など観光情報を発信する企画展を行う。
ボランティア等人材育成業務	・ボランティア育成のための研修を行い、館内を案内する人材を育成する。 ・東海道川崎宿の歴史と文化を学び、地域交流を活性化し、人のつながりを生み出すボランティアを育成する。
自主事業	・地域文化の向上のため、朗読劇・寄席・各種講演会などを開催する。
その他	・旅行代理店等とのタイアップによる日帰りツアーを企画する。

6 収支計画

(単位：千円)

項 目	金額（消費税及び地方消費税を含む。）					
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	合 計
収 入	23,194	40,730	40,830	40,930	41,030	186,714
指定管理料	21,910	37,700	37,700	37,700	37,700	172,710
利 用 料 金	896	2,050	2,150	2,250	2,350	9,696
その他の収入	388	980	980	980	980	4,308
支 出	23,194	40,730	40,830	40,930	41,030	186,714

別紙

東海道かわさき宿交流館の指定管理予定者の選定結果について

1 申請状況

説明会参加：16団体

申請団体：3団体

川崎市文化財団・川崎市観光協会グループ

（代表者：公益財団法人川崎市文化財団）

（構成員：一般社団法人川崎市観光協会）

東京海上日動ファシリティーズ株式会社 他1団体

2 民間活用推進委員会委員

【学識経験者】垣内 恵美子（政策研究大学院大学教授）

【専門的知識を有する者】川原 晋（首都大学東京准教授）

【公認会計士】新井 努（新井公認会計士事務所）

3 選定団体

川崎市文化財団・川崎市観光協会グループ

4 選定理由

選定された団体の提案は、仕様書に則り、具体的かつ意欲的で、東海道川崎宿の歴史、文化を掘り下げ、文化の振興に寄与する点でも評価できるものであるとともに、地域との連携や他の文化施設とのタイアップなどの事業内容についても期待を持てるものであり、次に掲げる事項を総合的に評価して、当該団体を選定した。

（1）事業目的の達成とサービスの向上への取組

○施設の規模や展示内容を十分に理解し、明確な運営のコンセプトを立て、提案内容も、極めて具体的かつ意欲的である。

○自身が運営している文化施設や、他の文化施設とのタイアップやネットワーク化は、本施設に新たな魅力を付加している。

○地域との連携の形も、具体的に提案されている。

（2）事業経営計画と管理経費縮減等への取組

事業計画と整合がとれた収支計画となっており、効率的な施設運営と管理経費縮減に対する考え方・方針が明確に示されている。

（3）事業の安定性・継続性の確保への取組

モニタリングについての考え方、主体的な業務改善に向けた取組が明確に示されており、安定的・継続的な管理が可能であると見込まれる。

（4）申請団体自身についての評価

同種施設の運営実績が豊富であり、財務分析評価が安定しており、安定的・継続的な管理が可能であると見込まれる。

（5）申請団体の取組

環境などの社会問題、コンプライアンス及び個人情報保護への認識が、明確に示されている。

5 審査結果（※基準点60点以上）

選定基準	配点	指定管理予定者	東京海上日動 ファシリティーズ(株)	団体A
①事業目的の達成とサービスの向上への取組	50点	41.33点	32.27点	26.07点
②事業経営計画と管理経費縮減等への取組	25点	18.67点	15.67点	12.33点
③事業の安定性・継続性の確保への取組	10点	7.00点	6.67点	5.67点
④申請団体自身についての評価	10点	7.00点	7.00点	5.67点
⑤申請団体の取組	5点	3.33点	3.60点	3.13点
実績評価点 (標準を0点として、加減点)		0点	0点	0点
合 計	100点	77.33点	65.20点	52.87点

※基準点未満の1団体は点数のみの公表となり、団体名は公表の対象とはなりません。

※各項目とも、委員の合計点を委員の人数で割り、小数点第3位を四捨五入しているため、合計点と各項目の合計点とは、誤差が生じています。

6 提案額

172,710千円（指定期間総額）

東海道かわさき宿交流館について

資料 2

背景

川崎市は、東海道や大山街道などの街道や宿場町として、また川崎大師の参詣などによる人の往来と営みの中で文化を育んできた歴史的な経過がある。

とりわけ東海道川崎宿は、本市において重要な歴史的・文化的資源である。

また、これまでに地域からも東海道川崎宿の歴史、文化を学び、それを後世に伝え、地域活動・地域交流拠点となる施設の建設について提案・要望が出されてきた。

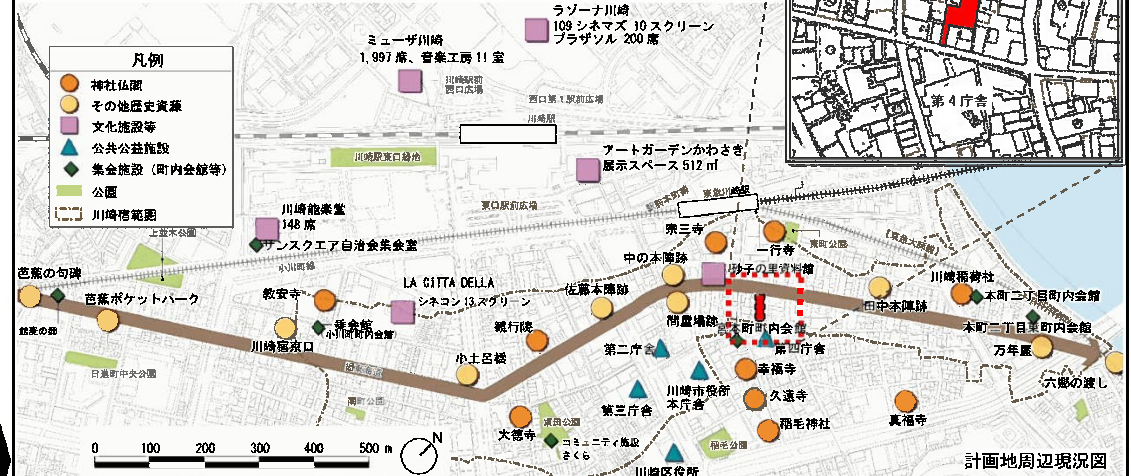
これまでの経過

- H 8 年度 「川崎区区づくり白書」
※東海道を活かした地域活性化を謳う
- H 1 3 年度 「大川崎宿まつり」
※1601年に東海道宿駅制度ができて400周年を記念して開催、実行委員会主催
- H 1 4 年度 「東海道川崎宿を活かした地域活性化方策検討委員会」が「東海道川崎宿 2023 いきいき作戦」を策定
※地域、商業及びまちづくり活動団体等の代表の方で構成、市が事務局
※提案内容：拠点づくり「(仮称)川崎宿おもしろ館」他
- H 1 5 年度 「(仮称)東海道川崎宿おもしろ館の整備に関する要望書」
※要望場所：水道分庁舎(現計画敷地)
- H 1 6 年度 「東海道川崎宿を活かした地域活性化推進組織」が発足(通称「東海道川崎宿 2023」)
※地域、商業及びまちづくり活動団体等の代表の方で構成、市が事務局
- H 1 7 年度 市が「東海道川崎宿まちなみまちづくりガイドライン」を策定
- H 2 0 年度
H20.8 「市立東海道資料館」建設要望(観光協会H21予算)→H22も同様
H21.3 「東海道川崎宿歴史資料館設立陳情書」(7,957名署名)
H21.3 「東海道川崎宿 2023」が「東海道川崎宿歴史資料館(仮称)整備基本構想」を策定
- H 2 2 年度
H23.2 市が「川崎駅周辺地域における文化資源等を活用したまちづくりの考え方」を策定
〔H22.8～10 「川崎駅周辺地域文化資源活用まちづくり懇談会」を開催
※地域、文化、商業及びまちづくり活動団体等の代表の方で構成、市が事務局
H22.11～12 パブリックコメント〕
H23.3 市が「(仮称)東海道まちづくり文化・交流拠点基本計画」を策定
H23.3 「東海道川崎宿 2023」が「東海道川崎宿 2023 いきいき作戦第3式巻」を策定
H23.3 市が「第3期実行計画」を策定 ※「(仮称)東海道まちづくり文化・交流拠点整備」
- H 2 3 年度 基本・実施設計
- H 2 4 年度 展示制作及び建築工事等
H24.6～ 「(仮称)東海道まちづくり文化・交流施設運営準備会」を開催
※地域、文化、商業及びまちづくり活動団体等の代表の方で構成、市が事務局
H24.8 総務委員会 所管事務報告「東海道かわさき宿交流館について」

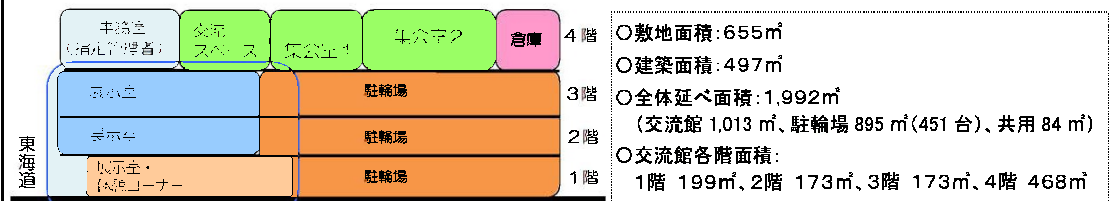
施設計画の概要

目 的：東海道川崎宿に関する歴史・文化等の資料の展示を行うとともに、市民相互の交流を推進し、もって市民の文化の振興に寄与するため、東海道かわさき宿交流館を設置する。

計画地：東海道沿道の川崎区本町1丁目8番地4。

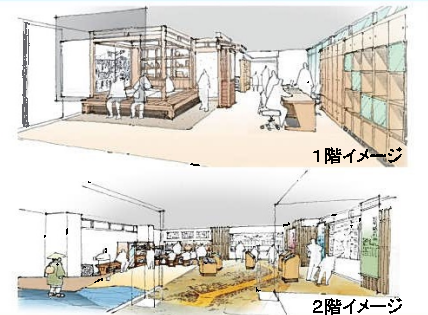


施設配置：



展示内容について

- テーマ 回遊(まちあるき)
- 展示の要素
 - ・東海道川崎宿
 - ・東海道川崎宿とつながる川崎の地域資源(人物・歴史 など)
- 展示の特徴
 - ・展示手法・・・楽しめる、身近に感じる体感展示
 - 体験型(ハンズオン)展示、映像を活用した展示
 - ・資料の扱い方・・・間近で見て、いろんな発見を
 - 間近で見てもらうため、複製・模造・コピー等での対応。
 - 貴重な資料や実物資料は所蔵先を紹介、回遊につなげる。

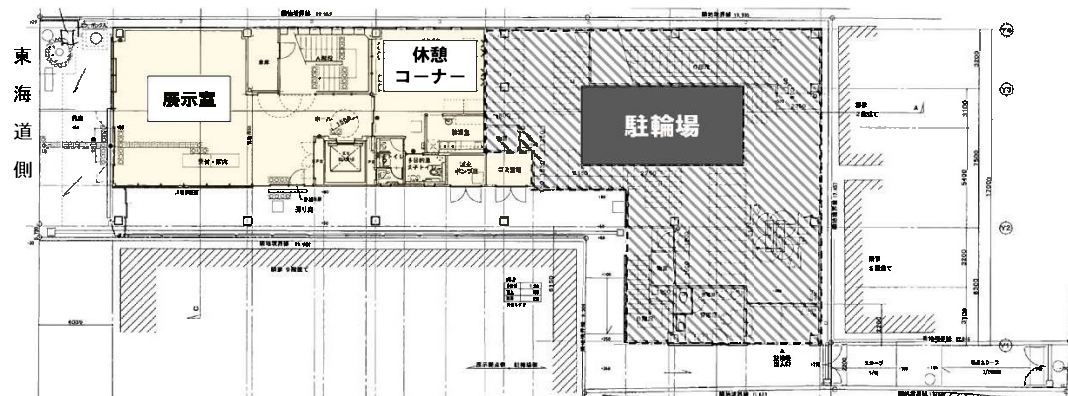


東海道かわさき宿交流館条例の制定

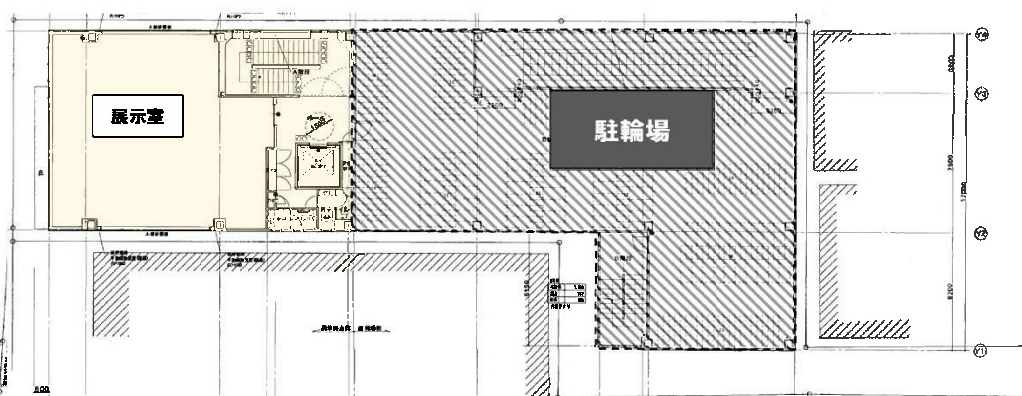
平成24年 9月 平成24年第3回市議会定例会に条例議案上程
平成24年10月 条例公布

東海道かわさき宿交流館 各階平面図

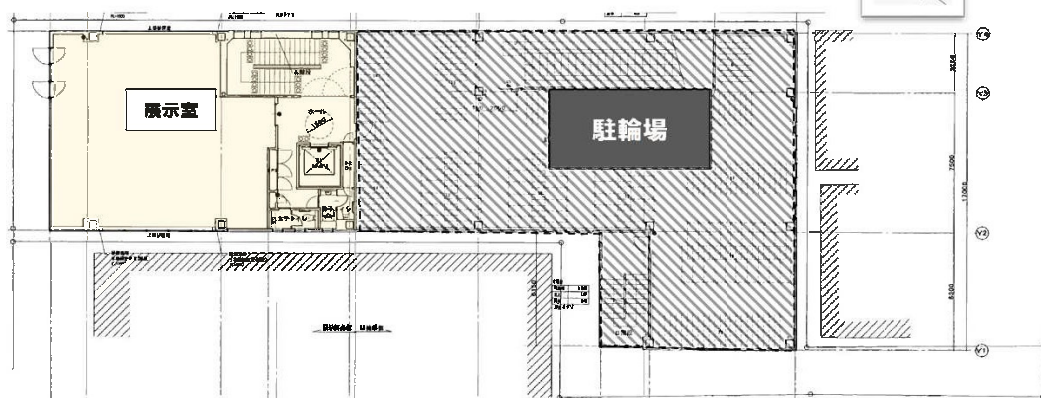
1 階



2 階



3 階



4 階

